

2024 年 9 月 23 日

今月のゲストは、ロータス協同組合の山田洋義さんでした。

山田さんは技能実習生の監理団体の理事で、普段から技能実習生と関わっていらっしゃいます。

技能実習生制度は関わりがないとなかなか理解するのが難しいですが、山田さんに噛み砕いていただきながらお話いただき、実習生の姿を垣間見ることができました。

お話の中で特に「実習生は大変だな」と感じたことは、実習生は滞在期間の 3 年や 5 年の間に技能試験も受けるので、日本語含め継続して学習していかなければならないということでした。また、介護の分野にも実習生が入っていますが、実習生の中には介護福祉士国家試験の合格を目指して頑張っている実習生もいて、仕事をしながら、夜勤などもこなしながら、介護の専門用語など日本語で受験する国家試験の勉強を必死にしているそうです。

私たちの生活で目にするもの、手にするもの、ほとんど全てに関わっている実習生。

街中で見かけたら、「頑張って！」と言いたくなってしまいますね。

技能実習生は、メディア等では様々なことが言われていますが、突然日本へ来た方に比べると、監理団体に相談ができたり、宿泊施設も用意されていたりと守られてる印象があります。実習生制度は廃止が決まりましたが、誰だとしても受け入れ側のマイ

ンドが大切ですねとなりました。

そして、多文化共生で大切な気持ちについてもうかがいました。山田さんが大切にされていることは「お互い様」と「郷に入りては郷に従え」だそうです。文化や習慣の違いを受け入れ側も楽しみながら、理解し、外国人住民の方にも、ここが日本であるということを理解し、母国と日本の違いを楽しみ、わかってもらえるといいななどのことでした。

最後に将来の日本、地域についてうかがいました。「隣の外国人」は当たり前の存在になることが将来の日本だろう、いや、そうならないと、と話してくださいました。

山田さんのような方に支援してもらえる実習生はきっと「日本に来てよかったな」と思えることでしょう。そして「日本にもう少し住んでみようかな」という人も増えるのではないのでしょうか。受け入れ側の変化も今求められているなと感じました。

真面目で、楽しいお話、ありがとうございました！

次回の「あなたの隣の外国人」もお楽しみに！











[3 件以上](#)

インサイトと広告を見る

[投稿を宣伝](#)

すべてのリアクション:

13 你好 花嫁 (ニーハオ はなよめ)、他 12 人